

高知市水道事業基本計画2007ができました

今後10年間はこの指針に基づき事業運営をおこなっていきます

皆さまからのご意見を参考に

高知市水道事業基本計画2007を策定しました。計画は、高知市水道事業の直面するさまざまな課題に適切に対応していくための指針となるもので、平成19年度から28年度までの施策の方向性を示しています。

基本理念

『快適な市民生活を支える安心と信頼の水道』のもと、国の「水道ビジョン」を基調に、「いつでも、どこでも、安全でおいしい水」の安定供給の更なる充実を目指し、お客さまの視点にたった事業運営をおこないます。

基本計画の主な施策に係る業務指標・目標(値)

基本施策	業務指標・目標(値)	平成18年度	平成28年度	備考
		現状	目標値	
管路・装置の適切な維持管理	鉛製給水管率★	31.2%	10.00%	H33年度(15年間)で全廃
	鉛製給水管残存件数	37,643件	13,000件	
総合的な水質管理	連続自動水質監視度★	0.000台/1000	0.065台/1000	連続自動水質監視装置を8台設置
送配水施設整備事業の推進	配水管延長密度★	20.0 km/km ²	22.5 km/km ²	新設年間6 km
増補改良事業の推進	旭浄水場の更新	H17年度から着工	H26年度中に完了	
漏水防止対策事業の推進	有効率	95.23%	98.00%	
簡易水道事業の統合・整備	鏡・土佐山簡易水道改良		H24年度中に完了	
効率的な水運用管理システムの構築	マッピングシステムの構築		H22年度中に完了	
基幹施設の耐震化の推進	基幹施設の耐震化率	2.7%	40.0%	耐震診断, 耐震工事
	基幹管路の耐震化率	9.28%	30.00%	φ150以上布設替
	無ライニング铸铁管残存率	8.15%	0.00%	平成28年までに全廃
	管路の耐震化率★	4.7%	14.0%	
バックアップ施設の整備	送水幹線の二重化	H20年度から着工	H29年度中に完了	
応急給水・応急復旧施設の拡充	給水人口一人当たり貯留飲料水量★	158 L	200 L	三里地区へ送水所、配水池の建設
	給水人口一人当たり確保水量	107 L	154 L	大津配水池の二槽式への改良、飲料水確保施設と施設の受水槽・配水池を整備
	配水池貯留能力★	0.83日	1.02日	三里地区へ送水所、配水池の建設
	給水拠点密度★	30.0 か所/100 km ²	70.5 か所/100 km ²	
	可搬ポリタンク・ポリバック保有量★	19.1 個/1000人	72.3 個/1000人	計画的な購入
	応急復旧資機材整備目標達成率	25.40%	100.00%	

★:水道事業ガイドラインによる業務指標値

基本目標

「安心」、「安定」、「持続」、「災害」、「環境」の5つの視点から目指すべき方向を捉え、基本目標を「安心快適な給水の確保」「持続可能な水道の推進」「災害対策の推進」「環境・エネルギー対策の推進」の4つとしました。

実施計画は

財政計画に基づく概ね3年毎に策定し、適切な進行管理に努めながら、平成20年1月の春野町との合併や財政状況、市民のニーズ、社会情勢等の変化を踏まえ、適宜、評価や見直しを行い、事業運営に反映させます。

数値目標

(社)日本水道協会の策定した「水道事業ガイドライン(PI:業務指標)」を積極的に取り入れ、目標設定を明確にし、事業の成果と目標の達成度を具体的に把握し評価できるようにしています。

高知市市民意見提出(パブリック・コメント)制度では、9人の方から11件の貴重なご意見をいただきました。

それらの意見と、意見に対する水道局の考え方は高知市水道事業基本計画2007とともに水道局のホームページ

(<http://www.city.kochi.kochi.jp/deeps/24/2407/>)に掲載しています。